

科目名		15. 生活支援技術演習Ⅱ	
担当講師	古川 太基/黛 真人	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	演習 60 時間・2 単位	開講学年	2 学年 通年
評価基準	筆記試験 30%・実技試験 70%（前期 20%・後期 50%）・ レポート課題の提出状況等：未提出の場合は減点とする 出席点：減点方式で総合評価から減点する （欠席、遅刻、早退、忘れ物：1 つでも該当で、1 コマにつき 2 点減点）		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1 年次に習得した基本的な介護技術を応用し、安全・安楽に考慮した援助ができるようになる。 ・利用者の自立を尊重し、個々に応じた援助ができるようになる。様々な角度から介護技術を捉えられる力を養い、実践できるようになる。 ・障害の状況や状態に応じた援助について学び、介護福祉士の役割と生活支援のあり方について理解を深める。 ・終末期における援助について学び、介護福祉士の役割と生活支援のあり方について理解を深める。 		
回	講義内容	方法	
1	1 年間の講義に向けて ①オリエンテーション：シラバス説明、実技組み合わせ確認 ②障害に応じた生活支援技術：知的障害（療育活動の考え）	講義・演習	
2	リハビリ専門職との連携 重度の方へのアプローチ方法	講義・演習	
3	実習に向けて①： <u>自立に向けた身支度・移動・排泄の介護等</u>	講義・演習	
4	実習に向けて②： <u>自立に向けた身支度・移動・排泄の介護等</u>	講義・演習	
5	実習に向けて③： <u>自立に向けた身支度・移動・排泄の介護等</u>	講義・演習	
6	実習に向けて④： <u>自立に向けた身支度・移動・排泄の介護等</u>	講義・演習	
7	前期実技試験告知、練習	講義・演習	
8			
9	前期実技試験	講義・演習	
10			

11	<u>福祉用具を活用した介護技術①</u>	講義・演習
12	<u>福祉用具を活用した介護技術②</u>	講義・演習
13	<u>福祉用具を活用した介護技術③</u>	講義・演習
14	<u>移動の介護の実践的応用</u> ：複数名での移乗介助 ①ベッド⇒車椅子 ②ベッド⇒ストレッチャー	講義・演習
15	終末期： <u>終末期の意義</u> と介護福祉士の役割（ターミナルケア）	講義・演習
16	終末期： <u>死に対する心理の理解</u> （キューブラーロス）	講義・演習
17		
18	終末期： <u>終末期における介護技術</u> （エンゼルケア）	講義・演習
19	終末期：家族への支援の実際（グリーフケア）	講義・演習
20		
21	最終実技試験告知、事例発表練習	講義・演習
22		
23	事例発表、最終実技試験の注意事項	講義・演習
24		
25	最終実技試験	試験
26		
27	チームアプローチ 災害時における対応	講義・演習
28		
29	まとめ	講義
30	筆記試験	試験
テキスト・参考書		最新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 中央法規 最新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ 中央法規 最新・介護福祉士養成講座 8 生活支援技術Ⅲ 中央法規 ※必要に応じて資料配布、他科目のテキストを使用する場合あり。